

# 協会だより



平成25年度 会員県外視察研修にて(清水港)

【平成25年度 全国統一防火標語】

## 「消すまでは 心の警報 ONのまま」



## 新春を迎えて

秩父防火安全協会  
会長 小池 文喜

会員の皆様新年、あけましておめでとうございます。今年は午年。尻上がりなどという言葉もありますが、安倍首相が言われたように駿馬の如くがんばりたいですね。

昨年当協会の県外視察で山梨県のリニア見学センターに行き、実際に時速500kmで走っているリニアモーターカーを見ることが出来まして、そのスピードにはびっくり致しましたが、走行の仕組みを勉強するうちにこれは意外とエネルギーを使わないのではないかと思いました。ポイントはやはり超伝導磁石です。いったんマイナス269度に冷やしてしまえば冷たさを保つ為のエネルギーは必要ですが他には電力を使わないので強力な永久磁石と同じ。これを車体の両側にN・S・N・Sと配置してあります。一方ガイドウェイと呼ばれる線路の側壁には車体の両側に超伝導磁石と同じピッチでコイルが配置されていてN・S・N・Sと隣同士のコイルが逆になるように電気が送られる仕組みになっています。この周波数を加減することによって速度制御ができます。同じ側壁にこの推進用コイルとは別に浮上・案内コイルが設置されていてこれには電気を流しません。車体のスピードが上がってくると（およそ時速100kmだそうです）超伝導磁石の強力な磁力がコイルを切ることでコイルに電流が発生し、それにより磁力が発生する。この浮上案内コイルの磁力と車体の超伝導磁石の磁力との反発力と吸引力により浮上し、左右の側壁からの間隔も安定するのだそうです。なんだか鶏と卵どちらが先かのような話になってきましたが、諸外国のものとは決定的に違うのは10cmくらい浮くので地震などに対して非常に安全だということです。また同じような技術だと思いますが誘導集電という技術で車内の電力、主に超伝導磁石を冷やす電力だと思いましたが、それを非接触でパンタグラフなどを使わずにまかっています。地道に技術を積み上げてこられた技術者の方々に敬意を表したいと思います。

今年も秩父広域の安全を担ってくださる消防署職員皆様のご安全と防火安全協会会員事業所様のご無事を心よりお祈り致しましてご挨拶とさせていただきます。今年も宜しくお願い致します。





## 年頭の挨拶

秩父消防本部  
消防長 若林 利忠

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には2014年の輝かしい正月を、ご健勝でお迎えになられたこととお慶び申し上げます。また、今年の正月は天気も良く、穏やかな日に恵まれました。私も今年1年がこの天気のように災害の無い穏やかな年であればと心の中でお祈りさせていただきました。

さて、消防を取り巻く環境は年々複雑多様化をしており、我々消防職員も最新の知識と技術を習得して、各種の災害に対応する能力の向上を図らなければなりません。特に、近年の自然災害は世界各地に大きな被害をもたらしており、巨大地震・大型台風等による風水害等の被害は大規模広域化しております。これらの災害もまたいつどこで起こるかわかりませんが、我々防災関係者も地域住民とともに力を合わせてこれらの災害に対応していかなければなりません。そのために大切なことは、公助・共助・自助の各分野において連携を円滑にしていくことであり、地域住民一人一人の防災意識の向上を図り、自分の身は自分で守るという思い、いざという時に地域の人々が助け合う自治防災の活動を充実していくこと、国や県、市町の行政機関の的確な公助が必要不可欠かと考えます。

3年前の東日本大震災で実際の災害から学んだ事例ですが、2万人近い犠牲者が出てしまった中で、多くの命が救われた「釜石の奇跡」を知り、普段の防災教育・防災訓練の大切さを切実に感じるとともに、知識だけでなく、実践を伴った教育・訓練がいざという時に役に立つことをあらためて教えられました。

会員の皆様には日頃防災に対して積極的に取り組んで頂いていることと思いますが、今後とも防災に関心をお持ちいただき、会員各事業所様がいざという時に共助の一員になっていただければ、地域防災の輪が広がって、地域住民は心から安心して生活できることと思います。

終わりに、秩父防火安全協会のご発展と、会員皆様が無災害で過ごされますようご祈念申し上げますとともに、会員皆様のご支援ご協力を心からお願い申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 平成25年度 会員県外視察研修に参加して

山梨県立リニア見学センター

## 県外視察研修について

(株)グラフィイトデザイン 和田 哲也

昨年の11月12日、13日に山梨県立リニア見学センターの視察研修に参加させて頂きました。

センター2Fの展示室にてリニアのメカニズムを紹介するビデオを見学し、3Fの展望室にて新型車両による走行試験を見学予定でしたが、屋外にある展望広場に移動して走行試験を見学しました。新幹線の倍のスピードで通過するため一瞬で通り過ぎてしまい、あっという間の見学でした。500km/h以上出ているという事を聞き、改めて日本の技術力のすばらしさに感動しました。短時間での視察研修でしたが、実際の走行試験をしているリニアも見られましたので有意義に過ごせました。

視察後バスの中では防火防災のビデオを見ながら宿泊場所まで行き、再度防火防災について再認識をしました。

今回初めての参加でしたが、防火安全協会の皆様や消防署の方との親睦も図れ、楽しく研修を受ける事が出来ました。

最後になりますが、会員の皆様の御健勝と御活躍を祈念申し上げます。



山梨県立リニア見学センターにて (平成25年11月12日)  
1列目左から3人目 加藤さん、2列目左から2人目 和田さん

## 県外視察研修に参加して

第一ホテル秩父 加藤 節子

この度、秩父防火安全協会視察研修旅行に参加させていただきました。11月12日、秋も深まる秩父の山並みを後にして研修先である山梨県リニア見学センターに到着しました。日本独自の技術開発の結晶を30年以上の時を経て実現させようとしている今日『日本の力』の凄さを実感しました。そして磁力により車両を10cm程度浮上させ走行する仕組みとの事で、未来、超高速で東京～大阪間時速500km、1時間で結ばれることの速さに驚き、更には初めて見る試運転はひとコマ一瞬、まばたきする間に目の前を通り過ぎて行き言葉にならない迫力でした。原理が磁力とはとても考えにくく日本の技術に圧巻です。近未来、是非とも乗れる機会を楽しみにしております。

2日目は、三保の松原を見学させていただきました。私事ではございますが、中学の修学旅行で立ち寄った事もありとても懐かしく、秋の美しい海、そして壮大な松に見惚れてしまいました。

この度の研修旅行において日本の「技術のすごさ」・「自然の素晴らしさ」に触れさせていただきました事に感謝申し上げます、一緒にご参加になりました皆様、そして防火安全協会の皆様と楽しい時間を過ごせました事に厚く御礼申し上げます。

更なる皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

## 『秩父消防署南分署に掛け時計』を贈呈しました。



秩父消防署南分署の新築に伴い、当協会から『掛け時計』を贈呈しました。

掛け時計は、分署内の事務所に設置されました。24時間勤務という昼夜を分けず消防業務に従事する職員と一緒にこれから「一秒を争う出場の時には厳しく、束の間の休息のような時には、穏やかに時を刻んで行くことしましょう。」

## 『防火DVD』を購入しました。

『幼児向けの防火DVD』を購入しました。

防火DVDは、自衛消防訓練をはじめ各種訓練や防火講演の視聴ソフトとして大変有効です。会員の皆様の事業所における訓練時等にお役立てください。

なお、協会の所有する防火DVD等は、防火DVD 24本・VHSビデオテープ63本であります。幼児向けのものから様々な内容のものをご用意しております。ご活用になる場合は消防本部予防課まで事前にご相談ください。



## 『協会PR用品』を配布しています。



当協会のPR事業の一環として、小学校児童等の消防本部庁舎見学の際に、記念品の配布を行っています。小学校による庁舎見学は、校外学習の一環として秩父郡内の公共施設を見学し、社会の仕組みを学ぶ授業として消防署に見学を訪れるものです。庁舎見学の年間の延べ人数は約1,200名で多くの児童にPRを行っています。

## 『秩父神社例大祭に伴う露天商等に対する』 火災予防指導の実施

秩父神社例大祭に伴い、火気を使用する露天商等643店舗を対象に火災予防指導を実施しました。火災予防指導については例年実施していますが、今年は平成25年8月15日京都府福知山市で発生した露天商の関係する火災を踏まえ、担当職員を大幅に増し実施しました。

ご承知のとおり秩父地域は祭りやイベントの多い地域です。このため昨年の9月から今年の8月にかけて「多数の観客等が参加する行事」を40件余りピックアップし火災予防指導を計画し実施中です。行事に参加する住民や、秩父地方を訪れる観光客の皆様が「安全・安心に参加されることを祈って。」火災予防指導を実施しております。



## 『秩父広域消防出初式』が行われました。



新春恒例の秩父消防出初式が、平成26年1月7日(火)秩父消防本部において多くの来賓及び観客の皆様にご来場いただき盛大に行われました。

消防出初式は、消防職員の規律・部隊の錬度を確認することを主な目的とし、消防の仕事を広くご理解いただくとともに地域住民の信頼の向上を目指し催しています。

部隊点検に始まり、消防活動訓練、音楽隊の演奏のほか秩父鳶組合皆様のご協力を得て、はしご乗りが実施されました。当日は風もなく穏やかな青空の下に催されました。秩父地域のこの一年が、出初式当日の天候の様に平穏な一年であることを願い報告させていただきます。

秩父市消防局

消防出初式の起源は、江戸時代の火消しによる出初(でぞめ)・初出(はつで)といわれています。万治2年(1659年)1月4日、時の老中稲葉伊予守正則が、定(じょう)火消総勢4隊を率いて、上野東照宮前で出初を行って氣勢をあげたことが出初の始まりとして伝えられています。この出初は、明暦3年(1657年)の大火により大きな被害を受け、当時焦土の中にあって苦しい復興作業にややもすれば絶望的な状態にあった江戸庶民に、大きな希望と信頼を与えました。このことが契機となって定火消の「出初」は、毎年1月4日上野東照宮で行われることとなり、次第に儀式化され、恒例行事となって今日の出初式に受け継がれています。



# 平成25年 火災・救急・救助概況

## 火災件数



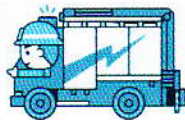
火災件数については、前年と比べ13件の増加です。その他火災が9件増加し32件で全体の46%を占めています。

出火原因別では、たき火(枯草の焼き等を含む。)が25件で前年の8件に対し17件の増加で出火件数の36%を占めています。

火災の傾向としては、たき火やごみの焼却行為を原因とする火災が増加しています。

市町別	区分	火災件数							死傷者		
		建物				林野	車両	その他	計	死者	傷者
		全焼	半焼	部分焼	ほや						
秩父市		11	1	4	5	4	3	20	48	3	6
横瀬町					1	1		2	4		
皆野町		1				3		2	6	2	1
長瀬町						1	1	3	5		
小鹿野町			2					5	7		1
計		12	3	4	6	9	4	32	70	5	8

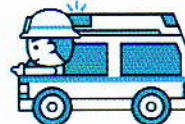
## 救助発生件数



救助発生件数については、前年と比べ23件の増加です。山岳救助件数が42件で、発生件数全体の41%を占め前年と比べ19件の増加です。近年の登山ブームが山岳での救助発生件数の増加に大きく影響していると思われます。

市町別	区分	発生件数	事故種別											
			火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の事故			
											その他	山岳		
秩父市		57		15	3				3			36	15	21
横瀬町		8		4					1			3		3
皆野町		7	1	3	1							2	1	1
長瀬町		9		1	3		1					4	4	
小鹿野町		22		2								20	3	17
計		103	1	25	7		1	4				65	23	42

## 救急出場件数



救急出場件数については、前年と比べ313件の増加です。急病が全体の57%を占め、次いで一般負傷の15%、転院搬送の14%となっています。

市町別	区分	出場件数	不搬送件数	搬送人員	事故種別													
					火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
															転院搬送	医師搬送	資器材等	その他
秩父市		2,994	231	2,799	6		1	260	11	17	423	12	46	1,718	475			25
横瀬町		358	30	330				56	1	1	62	1	10	219	5			3
皆野町		581	40	548	1		1	45	3		58	1	9	305	157			1
長瀬町		368	34	336			3	37	1	1	80	2	28	201	11			4
小鹿野町		602	55	555	1		2	49	7	2	106	3	7	359	63			3
その他		3	2	1				2			1							
計		4,906	392	4,569	8		7	449	23	21	730	19	100	2,802	711			36

# 平成26年 春の火災予防運動

平成26年3月1日(土)～3月7日(金)

火災予防運動は、火災が発生しやすい時期を迎えるに当たり、火災予防を一般住民や事業所に啓発し、火災の発生を防止することを目的に実施します。

火災予防にご協力をお願い致します。

## 住宅防火 いのちを守る 7つのポイント ～ 3つの習慣・4つの対策～

### 3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。



### 4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制を作る。

### ◇甲種防火管理新規講習の実施について◇

平成26年度も昨年と同様、甲種防火管理新規講習を秩父消防本部において、6月中旬（2日間）に開催する予定です。

なお、案内通知は5月配布予定です。詳細にあっては秩父消防本部ホームページに4月以降掲載します。ご不明な点は秩父消防本部予防課までお問い合わせ下さい。

秩父消防本部 予防課 TEL 0494-21-0121  
ホームページ <http://www.chichibu.ne.jp>

### ◇危険物取扱者試験・消防設備士試験◇

平成26年度の危険物取扱者試験日程・会場は（平成26年2月現在）未定となっております。3月中には日程等が決まるとのことです。詳しくは（財）消防試験研究センター埼玉県支部又は秩父消防本部予防課までお問い合わせ下さい。

（財）消防試験研究センター埼玉県支部 TEL 048-832-0747  
ホームページ <http://www.shoubo-shiken.or.jp>

### 編集後記

春は、出会いと別れの季節です。危険物事務の大ベテランでもあり、秩父防火安全協会の事務局として長年携わった大先輩職員がこの春を持って定年退職します。私達現危険物事務担当者が、検査等で出向すると検査先で「〇〇さん今日は来ないの？元気。」と声が掛かる程の先輩です。まだまだ、多くの事を教えて頂きたい思いもありますが...

今までのご功績とご労苦に敬意を表し、第2の人生の幸多きことを願ってペンを置きます。『お疲れ様でした。お元気で!!』

